

dアカウントログイン

新規にdアカウントをつくる

dPOINT
--- P

会員情報の確認・編集
dポイント利用者情報・配送先情報

決済サービスご利用案内
spモード決済・d払い

ニュース

ニューストップ

新着

マネー・投資

企業・産業

マーケット

ビジネス・ライフ

コラム

コラムトップ

新着

マネー

投資

FX口座

証券

NISA

融資

クレジットカード

ビジネス

不動産

お金の単語帳

お知らせ

dメニューマネーからのお知らせ

プッシュ通知の解除方法について

dmenu マネーとは？

dmenu

ニュース

天気

乗換／運行情報

メニューリスト

マイメニュー

dメニュー設定

My docomo（お客様サポート）

dアカウントについて

トップ

ニュース

コラム

TOP > コラム > マネー

家計を見直したい



相談「あと20年で完全にリタイアするにはいくら貯めておけばいいでしょうか」

© 2022/12/01 07:00

老後の備え

FPに相談

dmenu マネー

会社員・女性（45）、共働き 子ども2人（小6、小3） 持ち家（戸建て）の相談

「20年後の65歳には完全にリタイアしたいです。年金は夫婦で月20万円程度はもらえるようですが、必要最低限の老後生活を送るには自分でいくら貯めておけばいいでしょうか。現在、[イデコ](#)などの運用はしていません」

アドバイス1 生活費など合計で2,800万円を目標にしましょう

生活費として1,800万円、その他の費用として1,000万円、合計で2,800万円を目標に貯めていきましょう。

生活費についてですが、老後生活を夫婦2人で送るには1 カ月に約26万円かかるとされています（総務省家計調査）。相談者は年金が夫婦で月20万円もらえる見込みですので、1 カ月の生活費の不足は6万円です。

希望のとおり、65歳でリタイア、寿命を90歳までとすると、老後の25年間で不足する生活費の合計は、「6万円×12カ月×25年間＝1,800万円」です。

広告の下に記事が続きます

また、生活費以外には、病気や介護に備えるお金が必要です。こちらは、300万円を目安にしましょう。さらに、老後に持ち家をリフォームする可能性がありますので、その費用として、合計500万円程度みておきましょう。

一般的な住宅のリフォーム費用の相場は、キッチン50～150万円、洗面所20～50万円、トイレ20～50万円、お風呂50～150万円、外壁塗装100～150万円、屋根リフォーム100～150万円です。

生活費以外の費用（病気や介護のお金とリフォーム代）をおおよそ1,000万円とすると、老後のために自分で備えておきたい金額は2,800万円です。

ただし、退職金や貯金、その他金融資産など老後のために使えるお金がある場合は、その額を2800円から引いた金額を目標にするとよいでしょう。

①

← 前へ

1

2

次へ →

1/2ページ

» 記事制作者



武藤 貴子 〔文〕
ファイナンシャル・プランナー

» 関連キーワード

老後の備え

FPに相談

ランキング

最新

人気記事

dアカウントログイン

新規にdアカウントをつくる

dPOINT

--- P

会員情報の確認・編集

dポイント利用者情報・配送先情報

決済サービスご利用案内

spモード決済・d払い

ニュース

ニューストップ

新着

マネー・投資

企業・産業

マーケット

ビジネス・ライフ

コラム

コラムトップ

新着

マネー

投資

FX口座

証券

NISA

融資

クレジットカード

ビジネス

不動産

お金の単語帳

お知らせ

dメニューマネーからのお知らせ

プッシュ通知の解除方法について

dmenu マネーとは？

dmenu

ニュース

天気

乗換／運行情報

メニューリスト

マイメニュー

トップ

ニュース

コラム

TOP > コラム > マネー

家計を見直したい

相談

相談「あと20年で完全にリタイアするにはいくら貯めておけばいいでしょうか」

2022/12/01 07:00

老後の備え

FPに相談

dmenu マネー

アドバイス2 イデコなどを活用し効率的に運用しましょう

退職金などを考慮しない場合、65歳までに準備したい2,800万円を貯めるには、年間140万円貯める必要があるのですが、[イデコ](#)や[NISA](#)などの税制優遇制度を活用して、少しでも増やしましょう。

65歳でリタイアできても、その後の人生も決して短くありません。今回、提案した額を貯めて生活できるとしても、お金がかかる趣味に打ち込めるわけではありません。また、20年の間に心変わりして「仕事を続けようかな」と思うようになるかもしれません。

実際に65歳でリタイアするかはともかく、リタイアしても困らない額をつくるためには、1日も早く、計画的な貯蓄や運用を始めましょう。

文・武藤貴子（ファイナンシャル・プランナー）
編集・dメニューマネー編集部

- 【関連記事】
- ・ [そろそろ締め切り！「ふるさと納税」の基礎知識](#)
 - ・ [初心者向け！ネット証券オススメランキング（外部）](#)
 - ・ [11月までに年収を調整しないと税金が高くなるかも？](#)
 - ・ [積立NISAを始めるタイミングは2022年がベスト？（外部）](#)
 - ・ [お金が貯まる？「風水・占い」特集](#)

記事制作者

武藤 貴子

【文】

ファイナンシャル・プランナー

関連キーワード

老後の備え FPに相談